

平成25年度
(平成24年度実施事務事業)

教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価報告書



(平成23年度に完成した牛深小学校)

平成25年8月

天草市教育委員会

は じ め に

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、平成24年度に実施した教育委員会の事務事業について点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

<参 考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I 点検及び評価に関する要領	1P
1 趣 旨	
2 点検評価の対象範囲	
3 点検評価の方法	
4 点検評価員の委嘱	
5 点検評価の手順	
6 点検評価調書の作成	
II 教育委員会の活動状況について	4P
1 教育委員会会議	
2 教育委員の主な活動	
3 附属機関の状況	
4 教育委員会の情報発信	
III 点検評価の結果	7P
① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成	
② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成	
③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成	
④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進	
IV 外部点検評価	15P
1 点検評価員	
2 会 議	
3 点検評価員の主な意見	
○ 基本目標、基本方針、努力目標、事務事業	19P
○ 点検評価調書	21P

I 点検及び評価に関する要領

1 趣 旨

この報告書は、天草市教育委員会の権限に属する事務の平成24年度の管理及び執行の状況について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第27条第1項の規定に基づき、点検及び評価を行う。

2 点検評価の対象範囲

点検評価の対象は、地教行法第23条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務のうち、平成24年度における「第1次天草市総合計画」や「天草市教育振興基本計画」を達成するための「基本方針」「努力目標」及び「事務事業」とする。

3 点検評価の方法

(1) 内部評価

○「基本方針」、「努力目標」については、事務事業の評価結果や教育環境の変化等から今後の「方向性」を判断する。

○「事務事業」については、その「必要性」、「有効性」等の観点から評価を行い、今後の「方向性」を判断する。

(2) 外部評価

学識経験を有する方から、「基本方針」、「努力目標」及び「事務事業」について意見を聴取する。

4 点検評価員の委嘱

(1)点検評価員の法的根拠 地教行法第 27 条第 2 項

(2)点検評価員の数 2人

(3)資格 教育に関し学識経験を有する方で、性別・年齢は問わない。

(4)任期 2年(再任を妨げない)

(5)報酬等 報酬・費用弁償については、天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定による。

5 点検評価の手順

点検評価は、次の順により行う。

①内部評価

事務局各課がその所管する事務事業等について、評価を行う。

②外部評価

上記①の内部評価の結果をもとに、点検評価員の意見を聴取する。

③最終評価

上記①及び②の外部評価の結果を踏まえ、教育委員会が最終的な評価を行う。

④議会への報告

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を市議会に提出する。

⑤公表

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を教育委員会ホームページに掲載し市民に公表する。

6 点検評価調書の作成

(1)「事業名」欄

平成24年度に実施した事務事業名を記載する。

(2)「第1次総合計画施策体系区分」欄

事務事業の上位施策となる第1次天草市総合計画後期基本計画における施策を記載する。

(3)「教育目標」欄及び「基本方針」欄

「天草市教育振興基本計画」及びそれを達成するための「基本方針」を記載する。

(4)「目的」欄

事務事業を実施する目的を記載する。

(5)「内容」欄

事務事業の内容を記載する。

(6)「全体計画、概要」欄

平成24年度の「決算額」、評価の「指標名」及びその指標の「目標値」・「実績値」を記載する。

(7)「評価」欄

① 評価項目

評価は、次の項目について行う。

○「上位の施策(目標)への貢献」欄

市が各種の施策を推進する上で基本となる「第1次天草市総合計画後期基本計画」や、教育行政の柱である「天草市教育振興基本計画」等の上位計画の達成にどの程度貢献できたか、という観点から評価を行う。

○「市関与の必要性」欄

市が関与する必要性はどの程度か、という観点から評価を行う。

○「目的の達成状況(有効性)」欄

事務事業を実施する目的がどの程度達成できたか、どの程度有効であったか、という観点から評価を行う。

○「内容(目標)の達成状況(活動状況)」欄

年度当初に設定した事務事業の内容や目標がどの程度達成されたか、という観点から評価を行う。なお、目標値を設定することが困難な事業については、事業(サービス)の充実度に応じた評価を行う。

② 評点

評価は、次の評点により行う。

○「上位の施策(目標)への貢献」欄

4:大いに貢献できた 3:貢献できた 2:少し貢献できなかった 1:ほとんど貢献できなかった

○「市関与の必要性」欄

4:関与の必要性が高い 3:関与の必要性がやや高い 2:関与の必要性はやや低い 1:関与の必要性は低い

○「目的の達成状況(有効性)」欄

4:大いに達成できた(有効であった) 3:達成できた(有効であった) 2:だいたい達成できた(有効であった) 1:あまり達成できなかった(有効でなかった)

○「内容(目標)の達成状況(活動状況)」欄

4:大いに達成できた 3:達成できた 2:だいたい達成できた 1:あまり達成できなかった

(8) 総合評価

上記(7)の評価を踏まえ、総合的な評価を行い、今後の課題等を記載する。

(9) 方向性

上記(8)の総合評価を踏まえ、事務事業の今後の取組みの方向性について、次により記載する。

- 廃止:平成25年度で事務事業を廃止する
- 終了:設定した終期の到来又は事業目的の達成により事務事業を廃止する
- 縮小:事業内容、事業量等を縮小して事務事業を継続する
- 見直して継続:他の事務事業との統合や内容を見直して継続する、又は新たに終期を設定して継続する
- 継続:現行の内容で事務事業を継続する
- 拡充:事業内容、事業量等を現行よりも拡充して事務事業を継続する

Ⅱ 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会会議

(1) 教育委員

平成24年度の教育委員は、次のとおりです。

役職名	氏 名	摘 要	任期満了年月日
委員長	黒鶴 進治	平成24年7月2日委員長選任	平成25年6月30日
委員長職務代理者	花里 昌直	平成24年7月2日委員長職務代理者指定	平成27年6月30日
委 員	金子 晴久	平成23年10月1日新任	平成26年6月30日
委 員	松本 由香里	平成24年10月1日新任	平成28年6月30日
委 員	行合 八恵子	平成25年1月1日新任	平成28年6月30日
教育長	岡部 紀夫	平成22年7月1日就任	平成26年6月30日

(2) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び天草市教育委員会会議規則に基づき、6人の教育委員が教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針、委員会規則の制定等、教育に関する様々な議題について審議します。

この会議は、毎月1回開催する定例会と、必要に応じて開催する臨時会があり、平成24年度においては、定例会を12回、臨時会を4回開催し、議案95件、協議報告51件について審議しました。

なお、会議は、人事等の案件を除き公開しています。

2 教育委員の主な活動

教育委員の主な活動は、次のとおりです。

(1) 学校訪問

教育委員会は、年間を通して市内の幼稚園や小・中学校を訪問し、教育課程、学習指導、生徒指導その他専門的事項について指導・助言等を行うとともに、その学校の取り組みや抱えている課題の把握に努めています。この際、教育委員も参加し、校長との意見交換や授業・施設の視察等を行いました。

学校訪問の状況

区 分	対 象	期 日	教育委員の出席状況
幼稚園訪問	4幼稚園	平成25年 1月25日～平成25年 2月15日	延べ15人
小学校訪問	35小学校	平成24年 6月 1日～平成24年12月11日	延べ52人
中学校訪問	13中学校	平成24年 6月12日～平成25年 2月 4日	延べ19人

(2) 研修会への参加

教育委員会では、教育委員会関係団体の行事や研修会に参加し、情報交換や研さんに努めています。平成25年1月28日に、熊本県市町村教育委員研修大会に6名の教育委員が出席し、翌日には、スポーツ及び文化の事務移管に関する先進地研修を実施しました。

(3) その他の主な会議や行事

会議・行事名等	期 日	教育委員の出席状況
服務宣誓式	平成24年 4月 5日	5人
入学式・入園式	平成24年 4月	延べ14人
社会を明るくする運動推進委員会	平成24年 6月27日	2人
教育力活性化推進大会	平成24年 7月 7日	3人
子ども読書フェスティバル(講演、発表)	平成24年10月 8日	1人
成人式(10地区)	平成24年 8月、25年 1月	延べ12人
研究発表会(小中学校研究指定校5回)	平成24年11月～平成25年 2月	延べ20人
退職者感謝状贈呈式	平成25年 2月28日	5人
卒業式・卒園式	平成25年 3月	延べ13人

3 附属機関の状況

政策等を立案するに当たり、専門的な判断を要する事案等について、各関係者の意見を広く聴取し、様々な角度から議論を行うため、附属機関を設置しています。審議会等の開催状況は次のとおりです。

審議会等の名称	開催回数	主な審議案件
天草市奨学生選考委員会	1回	奨学生の選考
天草市就学指導委員会	2回	心身に障害のある児童生徒の就学指導
天草市立学校給食センター運営委員会 (各センターごとに設置)	各2回	給食費の決定、給食日数、納入業者の承認管理運営
天草市社会教育委員会議	3回	社会教育事業の事業計画、運営方針
天草市公民館運営審議会	2回	事業計画、運営方針
天草市立図書館協議会	2回	事業計画、運営方針
天草市勤労青少年ホーム運営委員会	2回	事業計画、運営方針

4 教育委員会の情報発信

教育委員会では、教育に関する制度や手続等の周知を図るとともに、教育委員会の取組みに関心を持っていただくため、市民の皆様に様々な情報を提供しています。

平成24年度においては、本市の学校給食を運営・管理する上での基本的な指針となる

「天草市学校給食基本計画」を策定し、天草市ホームページでも公開しています。

また、教育委員会が主催する大会等の行事については、「市政だより天草」で随時掲載し周知に努めました。

なお、教育委員会定例会及び臨時会の開催日時、教育の現状及び課題、施策等について、天草市ホームページ上で情報の提供を行っています。

Ⅲ 点検評価の結果

天草市教育振興基本計画の「基本方針」「努力目標」に基づく事務事業について評価を行いました。

なお、努力目標に対応する事務事業の評価の具体的内容については、別添の「点検評価調書」を参照してください。

基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成
取り組みと成果	(1) 道徳教育・人権教育の推進 道徳の授業では、道徳学習指導要領に即した指導が行われているか、また、人権に配慮した授業が展開されているかを授業参観において確認し、直接、授業者に指導している。そのため、人権を尊重した学級経営・授業づくりが行われている。 (2) 特別支援教育の推進 市全体の課題である「移行支援」と「特別支援教育コーディネーターの役割」に焦点を当て、事例研究と実践発表を設定し、コーディネーター研修を実施した。そのため、地区内での連携が深まり、参加者の実践への意欲の向上を図ることができた。また、園・学校のニーズに応じることのできる巡回相談員を委嘱できたことで、要望に応じた相談が行われるようになった。そのため、発達障がい等のある児童生徒の支援のあり方や校内支援体制について、園・校内での共通理解と実践が図られるようになった。 (3) 環境教育の推進 学校版環境ISOコンクールへ市内全小中学校が参加することにより、各学校の地域性を活かした特色ある活動が展開され、児童生徒の環境保全に対する意識が高まった。 (4) 心の教室相談事業 中学校6校の相談室に「心の教室相談員」をそれぞれ1人配置し、不登校気味の生徒の適応指導や問題行動等に関係する生徒の教育相談等を実施し、問題解決に向けた指導、援助を行った。 (5) 教育相談体制の充実 子育て全般及び教育全般において、教育相談員によるカウンセリングや助言指導、研修の実施により、特別支援教育推進、不登校やいじめ対策、幼保小中連携推進、幼児教育等の充実を図ることができた。
	(1) 小・中学校施設耐震補強事業 平成23年度から繰越した国の経済対策を活用して、小学校校舎5棟・体育館3棟、中学校校舎10棟・体育館1棟の耐震補強工事を実施した。この結果、平成25年4月1日現在の小・中学校施設の耐震化率は、統合で廃校となる学校を除き100%(前年度86.5%)となった。 (2) 五和小中学校建設事業 用地造成工事や校舎・体育館の建設工事を実施した。 (3) 小・中学校施設営繕事業 小学校31件・中学校14件の工事を実施した。
	●家庭教育力学習支援事業 家庭における教育力の再生を図ることを目的として、小学校では全校、中学校では13校中10校で基本的な生活習慣、食育、健康教育などをテーマとして実施され、なかでも「親の学び」プログラムは、小中学校あわせて19校で実施された。

評価・課題	学校教育課	(1) 道徳教育・人権教育の推進 自他の生命を尊重する心や規範意識を持った豊かな感性を育てるために、学校の教育活動全体での心の教育の充実が今後必要である。また、道徳教育や人権教育については、地域・保護者への啓発が必要であるため、連携や啓発の方法について学校に指導していく必要がある。 (2) 特別支援教育の推進 「移行支援」の現状を把握し、その必要性と効果を周知し、地区内での連携の強化を図っていけるよう、コーディネーターの資質の向上を図る研修を企画運営する必要がある。また、園・学校のニーズに応じる巡回相談員の専門性について周知するとともに、継続した相談ができるような体制づくりが必要である。 (3) 環境教育の推進 小中学校の教育活動を通して、環境問題について、思考・判断力や実践力を培っていくことは、今後ますます重要である。このため、これまでの各学校の取組みに工夫を加え、継続して取り組むことにより、児童生徒の環境保全に対する意識を更に高める。また、各学校の取組みを更に充実させるため、学校版環境ISOの活動において具体的な数値目標(例:前年比5%削減など)を設定し、児童生徒が自らの活動の成果を実感できるような取組みを工夫する必要がある。 (4) 心の教室相談事業 教師への相談と違って生徒が気軽に相談ができるようになり、生徒及び保護者に安心感やゆとりが生まれ、問題解決への糸口が見出されている。社会環境が変化する中、不登校の生徒が増えており、未配置校においても検討する必要がある。 (5) 教育相談体制の充実 悩みや不安、問題を抱える保護者や教職員等からのニーズは高い。中でも「ことば」に関する相談が増加傾向にあるが、さらに相談内容に応じて専門の相談員が対応できる相談体制の充実と事業の周知の工夫が必要である。
	教育総務課	(1) 小・中学校施設耐震補強事業 学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす場所であるとともに、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割を果たすことから、より一層の安全・安心な学校づくりに資する整備を促進する必要があった。統合で廃校となる学校を除き耐震化率 100%となり、目的を達成することができた。 (2) 五和小中学校建設事業 小中一貫教育(連携)を目指した学校として、平成26年4月開校に向け計画どおりに進んでいる。 (3) 小・中学校施設営繕事業 各学校の規模及び構造、建設年度により、劣化、優先順位に違いがあり、年度内の調整は非常に困難な状態である。その中で、緊急事業及び予定工事については、何とか実施する事が出来た。今後も各学校の状態を把握し、計画的に事業の実施を図りたい。
	生涯学習課	●家庭教育力学習支援事業 子育てやしつけ、又は思春期の子どもが抱える悩みや問題等を通じて家庭教育のあり方を見直すとともに、子育てにおける家庭教育の重要性を再認識する機会を提供することができた。今後は、「親の学び」プログラムのさらなる普及と若年層や男性の参加者を増やすための対策が必要である。

基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成
取り組みと成果 学校教育課	(1) 学校教育研究委員会 学校教育研究委員会では、よりよい教育実践のための計画書や基礎的な参考資料・問題集等を作成してきた。平成24年度は、学習指導要領の改訂に伴って、市内の小・中学校における活用力を向上させるための問題集を作成し、市内全中学校に配布することができた。また、市内小・中学校の全児童・生徒に対していじめに関するアンケートを実施し、その結果を分析・考察し実態を明らかにするとともに、各校のいじめ防止のための具体的な対策を協議し、課題解決に向けての効果的な取り組みの発信を行った。 (2) 外国青年教師招致事業 国際化時代に備えた英語教育と国際理解教育の推進を図るため、外国語指導助手11人を配置した。中学校においては生徒の英語に対する興味、関心が高まり、コミュニケーション能力の育成をより図ることができ、小学校では外国語活動等で活用を図った。また、日常的に外国人と接する中で外国の文化や生活習慣に親しむことができた。 (3) 学習指導補助教員の配置 学習指導補助教員は平成24年度末時点で44人を配置し、チームティーチングを実施することで、一人一人の児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習指導を行った。また、安全面に配慮した生活指導においても効果が上がっている。 (4) 読書活動支援事業 学校での読書活動を推進するため、20人の学校司書を配置した。これにより、読書に対する児童生徒の意欲の向上が図られるとともに、図書室の環境整備・本の充実、学習指導への協力等更なる充実が図られた。 (5) 学校訪問の充実 小学校35校、中学校13校合計48校すべての学校を訪問指導することにより、現状を把握することができ、課題解決に向けての実践を確認し、必要に応じて、指導助言することができた。また、毎年度、継続的、計画的に行っていることにより、指摘事項の改善や諸計画等の修正も含めて、本市教育水準の向上に資することができた。 (6) 研究指定校の成果の普及・活用 天草市教育の質の向上を図ることをねらいとして、平成24年度は市内小・中学校の中から研究推進校として5校を指定した。研究推進校では、教科等教育、健康教育、ふるさと体験学習の領域ごとに、それぞれの学校で児童の実態に即した指導法の工夫・改善や評価等の実践的研究が推進され、その成果を研究発表会という形で市内の全学校に普及することができた。

	教育総務課	(1) 学校規模適正化 天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に基づき、学校統合推進協議会(地区振興会の代表、区長代表、保育所の保護者代表、PTAの代表、校長等で構成)を設置し、統合の時期や校名等について協議した。 また、平成25年4月に統合した福連木小学校、下田北小学校、下田南小学校、高浜小学校、大江小学校については、統合準備委員会(PTA、学校側で構成)を設置し、開校に向けた協議を行った。河浦小学校、新合小学校、宮野河内小学校については、後段の統合であり、協議は整っていたため、計画どおりの統合ができた。 (2) 姉妹都市教育交流事業 エンシニタス市から4名を受け入れ、8日間ホストファミリー宅にそれぞれ滞在し、市内の名所や施設を訪問した。また、生徒との交流活動では、書道や剣道に取り組むなど、異国の文化に触れながら交流を深めることができた。
	生涯学習課	●成人式 旧市町10箇所において、“おとな”になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ますため「成人式」を実施した。成人式をきっかけに、社会人としての責任と義務を自覚し、明るい選挙を推進し、交通安全についても再考する機会となり、また、久しぶりに再会する友人や恩師と旧交を温める良い機会にもなっている。
	学校給食課	●地産地消の推進 本市の豊かな食材を学校給食に生かしながら、安全・安心でおいしい学校給食を提供することにより、子どもたちの心身の健全な発達と毎月「食育の日」設定・推進により、食に関する正しい知識を養うことができた。併せて、地域の振興と活性化に寄与することもできた。
評価・課題	学校教育課	(1) 学校教育研究委員会 今後も教育改革や学習指導要領の全面実施に伴い、基礎的・基本的知識及び技能の確実な習得とそれを活用するときに必要な思考力・判断力・表現力の育成をめざした問題集の作成が必要である。また、いじめ防止には、早期発見、早期対応が効果的であることから、今後も定期的にいじめに関するアンケートを実施し、結果を分析・考察し実態を明らかにする必要がある。 (2) 外国青年教師招致事業 外国青年を外国語指導助手として市内小・中学校に配置し、生きた外国語の学習、異文化交流を通して語学力の向上と外国語の授業の改善が図られた。また、小学校に巡回訪問することで、児童が外国語に触れ、外国語に親しむことができた。今後は、学校の統廃合に伴い、担当校の見直しや、巡回方法等を検討する必要がある。 (3) 学習指導補助教員の配置 学習指導補助教員の配置については、各学校からの配置要望が多いため、各学校の状況を十分把握して、効果的な配置を行う必要がある。 (4) 読書活動支援事業 専門的知識を有する司書の配置により、蔵書分類、図書室のレイアウト等環境整備が充実し、又新刊図書の紹介、本の借り方指導等が徹底され図書室利用の活性化、児童・生徒の読書活動意欲が促進された。また、読み聞かせをしたり、童話発表会の指導・助言を行ったりするなど、専門性を

		生かした取り組みができている。今後は、学校の統廃合による適正な配置と人員の確保が重要となる。 (5) 学校訪問の充実 学校訪問の形態は全日訪問、経営訪問、事務局訪問とあるが、前年度の訪問で把握した各学校の実情に応じて、より効果的な訪問の在り方を検討する必要がある。また、平成24年度からは、中学校も全面実施となり、小・中ともに新学習指導要領による教育活動が展開されているので、学校訪問での指導事項、確認事項についてもさらに検討を重ねる必要がある。 (6) 研究指定校の成果の普及・活用 市指定教育研究推進校については、今後も研究推進校を指定し、その成果を市内の全幼稚園・小・中学校に普及していくことで、天草市教育の質の向上を図っていく必要がある。
	教育総務課	(1) 学校規模適正化 学校規模適正化(学校統廃合)推進計画どおりに統合ができた。学校統合により、児童が、よりよい教育環境の中で、より効果的な教育が受けられるようになった。課題としては、統合による児童、生徒の心の負担の軽減、安心、安全な通学の確保、廃校跡地の利活用があげられる。 (2) 姉妹都市教育交流事業 異文化体験や国際理解を深めることにより、相互において大変意義のある事業となった。今後も、更に受入体制の整備を行い、市民との協働により事業の推進を図りたい。
	生涯学習課	●成人式 地元で特色ある開催を望む声が非常に多く、また牛深地区の8月開催という時期の関係もあることから、当面は各地区で開催して継続するが、地域においては、対象人数が減少しており、市で一堂に集めての合同開催又は近隣地区合同での開催を検討する必要がある。 なお、変更する場合は、早めの決定と十分な周知が必要である。
	学校給食課	●地産地消の推進 食材によりばらつきがあり、米はほぼ100%の地産地消率であるが、肉類は地場産の価格が高く、市外からの物が多い。野菜等は時期により地元産の食材がないなど、安定した量の確保についても、課題が多い。

基本方針		③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成
取り組みと成果	生涯学習課	●自治公民館等整備費補助金・公民館改修事業・移動図書館・童話発表会・公民館生涯学習推進事業 いつでも、どこでも、自由に、多様な学習の機会から選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される環境を整備し、生涯学習の振興に努めるために、市民講座や生涯学習推進事業、ＩＴ講習会及び公民館主催の各種講座など学習機会の提供、あるいは童話発表会などの学習の成果を発表する場の提供を図った。 また、地域住民が気軽に集える場として、公民館や図書館等の社会教育施設の整備を図るとともに、自治公民館の整備に対する支援を行った。
評価・課題	生涯学習課	●自治公民館等整備費補助金・公民館改修事業・移動図書館・童話発表会・公民館生涯学習推進事業 それぞれのライフステージや現代的課題に対応した様々な事業を行い、住民へ学習機会を提供したが、市域が広いため全市民を対象としても会場周辺の住民の参加となっているため、今後は地域に出向いて地域が抱える諸問題に対応した学習の機会を提供する。 今後さらに、具体的な学習事例や各年代に応じた学習情報等を提供し、生涯学習への理解と関心を深めるような啓発活動を推進していく必要がある。 また、施設整備については、維持のための改修がほとんどであり、施設の充実には繋がっていない。自治公民館の整備に対する支援は、地域活動の拠点施設づくりのため、必要な施策である。

基本方針		④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進
取り組みと成果	学校教育課	(1) コミュニティスクールの推進に向けた取り組み 平成23年7月1日付けで、二江小学校に学校運営協議会を設置した。15人の学校運営協議会委員を任命し、地域の教育力を積極的に取り入れた学校運営が行われた。本町小学校では、これまでの4つの支援コミュニティの取組を継続するとともに、子どもたちへの学習支援を行う学習支援ボランティアの取組も新たに始められた。以上の取組により、地域の教育力を積極的に学校教育へ活かすことができ、児童の豊かな心の育成や学力の向上につなげることができた。 (2) 学校の自己評価 市教委への報告の様式を大まかに示したことにより、各学校の学校評価の在り方について、その状況把握が容易になり、より客観的に取組の様子について把握することができるようになった。また、校長会議や教頭研修会において、他校の取組の様子を紹介、発表することで、学校評価の在り方について研修を深めることができた。
	生涯学習課	(1) 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会 すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動である。本市ではこの運動の主要事業として、「社会を明るくする運動推進大会」を開催した。この大会は、社会を明るくする運動天草市推進委員会の構成団体や小中高校等さまざまな団体との連携により行っている。また、小学生による人権の作文発表を始め、学習の成果の発表の場も兼ねており、人としての豊かな心の育成等に寄与することができた。また、天草市の教育の現状について理解を深めるとともに、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、学校・家庭・地域社会が一体となって連携・協力し、学校教育や社会教育をはじめとするすべての分野の教育力の活性化を推進することを目的として、教育力活性化推進大会と社会を明るくする運動推進大会を合同で開催した。 (2) 放課後子どもプラン・青少年健全育成事業 家庭・学校・地域の連携を強化し、青少年教育に携わる指導者の育成や青少年団体の自主活動の支援など地域の教育力の向上と青少年の健全育成を図るため、放課後子どもプラン事業等により地域住民の協力を得て、放課後等の子ども達の居場所の確保や遊びの伝承、学習機会の提供を図ることで子どもたちの自主性や創造性を育む活動を支援した。また、地域や各種団体が行う青少年の各種体験事業や、他地域との交流事業等の支援を行う青少年健全育成事業を行った。
評価・課題	学校教育課	(1) コミュニティスクールの推進に向けた取り組み 本町小学校及び二江小学校のコミュニティスクールについては、学校と地域が一体となって子どもたちの教育に取り組んでおり、豊かな心や確かな学力の育成の面から、大きな成果があった。今後、この2校の取組をモデルとして、コミュニティスクールを他の学校においても拡大していく必要がある。 (2) 学校の自己評価 学校の事務負担を増加させずに、効果的な学校評価が実施できるよう、評価手法等の調査や優れた取組の普及に努めていく必要がある。

	生涯学習課	(1) 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会 合同開催として実施しているが、作文・標語の応募数も前年度よりも増加しており、規模ともに充実し、目的を十分に果たしていると考えている。今後も継続して実施していくが、青年の主張や青年団体の活動事例発表の機会を設ける必要がある。 (2) 放課後子どもプラン・青少年健全育成事業 事業を実施している地域や団体においては、事業の成果も出ている。地域住民の参画を得ることで実施可能な事業であるが、ボランティアとして活動できる人は限られており、市域全域への事業の拡大は難しい状況である。また、行政の支援がなければ継続も難しい事業であり、引き続き支援を行いたい。
--	-------	---

IV 外部点検評価

1 点検評価員

(50音順・敬称略)

氏 名	所 属 等
石 橋 敏 郎	熊本県立大学総合管理学部教授
松 尾 博 之	元天草市教育委員

2 会 議

第1回点検評価員会議

・ 平成25年 7月10日(水) 本庁別館 会議室B

第2回点検評価員会議

・ 平成25年 7月26日(金) 本庁別館 会議室C

3 点検評価員の主な意見

① 教育総務課の所管について

- ・ 小・中学校施設耐震補強事業について、いずれも耐震化率100%(廃校予定の学校を除き)となっており、大変評価できる。
- ・ 五和小・中学校建設事業について、小・中一貫教育モデル校として、児童・生徒が安心して教育を受けられる環境を整備していただきたい。新築校であれば、取り組みやすいと思われる。
- ・ 小・中学校施設営繕事業について、予算が関係するが、要望箇所をできるだけ整備するよう、引き続き努力していただきたい。
- ・ 姉妹都市教育交流事業について、指標は交流活動の内容とし、交流項目数の達成状況で評価すべきである。学生の選出方法についても課題があり、今後検討が必要である。
- ・ 小・中学校統合推進事業について、学校規模適正化推進計画に基づき、なるべく早く、小学校の統廃合が達成できるよう、努力していただきたい。

② 学校教育課の所管について

- ・ 道徳教育・人権教育の推進(学校訪問指導)について、指導計画等が毎回同じでは進歩がないため、やり方を改善して継続すべきである。
- ・ 天草市特別支援教育総合推進事業について、天草市全域をカバーしている事業で、支援体制も整備されている。今後も「工夫を加えながら継続」を図っていただきたい。
- ・ 環境教育の推進(環境にやさしい学校づくり)について、県表彰も多数受けているとのこと。天草市独自の表彰が無いようなので、今後の励みにつなげる意味でも、表彰制度を設けたらどうか。内容面が不足しているため、具体的な事例等の記載をお願いしたい。
- ・ 心の教室相談事業について、中学校6校での実施であるが、未配置の中学校でも要望があると思われる。相談件数も増加しており、「心の教室相談員」を全校に配置する計画で、事業の拡充を図っていただきたい。
- ・ 教育相談事業について、「心の教室相談事業」と似たような内容と思われる。事業を統合

し、カウンセラー・アドバイザーの配置を増やした方が、内容も充実するのではないか。将来的には、事業を統合し拡充を目指すべきと思われる。

- ・ 学校教育研究委員会について、具体的な事業内容を記載すること。副読本の冊数については、学級に数冊程度ではなく、全児童・生徒への配備が望ましい。「工夫しながら継続」していただきたい。
- ・ 外国青年教師招致事業について、外部委託については信用の問題もあるため、導入自治体等を調査の上、慎重に対応すべきと思われる。
- ・ 学習指導補助教員設置事業について、予算の関係で、要望数に対して配置数が不足している。発達障害児等の増加もあり、少しずつでも補助教員を増やすよう、予算要求をすべきである。事業の方向性については、「拡充」でよいと思われる。
- ・ 読書活動支援事業について、国が示した学校司書の配置基準を下回っている。基準を満たした学校司書の配置が望ましい。
- ・ 学校訪問指導の充実について、資料作成に係る労力は大である。先生方の負担軽減のためにも、簡略化はできないか。また、「道德教育・人権教育の推進(学校訪問指導)事業」との統合についても、今後検討していただきたい。
- ・ 市指定教育研究推進校補助金について、希望に応じ毎年推進校が指定されており、教育の質の維持向上のためには、必要な取り組みである。
- ・ コミュニティスクールの実施に向けた取組みについて、事業を充実させるためには、内容についても見直す必要があるのではないか。
- ・ 学校の自己評価について、各学校で違いが出てくる。点数による判断だけではなく、課題・問題点等を検討することも重要である。

③生涯学習課の所管について

- ・ 家庭教育学習支援事業について、各学校で実施する方向で推進すべき。また、若年層や男性の参加を増やす努力が必要である。
- ・ 成人式について、参加者の少ない成人式は淋しいので、旧市町の枠を超えて、市を2つか3つのグループに分けて開催してはどうか。とりあえず、隣接地区で合同開催が可能な地区を調査し、段階的な統合目標を検討すること。
- ・ 自治公民館等整備費補助金について、平成25年度より市長部局に移管となっている。地域にとって重要な事業であるため、市長部局でも継続して実施していただきたい。
- ・ 公民館改修事業について、施策の内容欄は、「生涯学習の推進」ではなく、「コミュニティ施設の整備」とすること。また、予算的に一般財源のみで厳しい面もあるだろうが、計画的な改修が重要である。
- ・ 移動図書館について、実績値を見ても地域にとっては必要な事業である。内部評価通り「拡充」の方向で実施していただきたい。また、中央図書館も老朽化しており、新たに整備する必要があるのではないか。
- ・ 童話発表会について、読書に親しむ機会の増加にもつながるため、継続して実施する必要がある。

- ・ 公民館生涯学習推進事業について、公民館の再編を受けて、事業の価値自体が上がってくると思われる。予算の増加を目指し、方向性は「拡充」で推進すべきである。
- ・ 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会について、本渡・牛深のみで開催されている。施設の関係もあるが、できれば各地域での開催が望ましいため、今後検討していただきたい。
- ・ 放課後子どもプランについて、夫婦共働き世帯が多い中、必要な事業である。市長部局で行っている「放課後児童健全育成事業（児童クラブ）」と連携を図り、事業を推進すべきである。
- ・ 青少年健全育成事業について、自己負担が相当伴うため、意識が高い団体等でないと実施が不可能である。青少年の健全育成に大きく寄与すると思われるため、予算の増加を図り、実施団体の増加を目指すべきである。

④ 学校給食課の所管について

- ・ 地産地消の推進について、品目割合により評価を行った方が、より地産地消の取組みが分りやすいのではないかと。また、方向性については、今後も地産地消を拡充して推進を図っていただきたい。

⑤ 点検評価調書の記入方法について

- ・ 全体計画、概要欄の「指標」及び「目標値」については、事業に対して適切な設定となるよう努めること。
- ・ 内容欄について、事業内容がよりわかるように、できるだけ具体例等についても記載すること。
- ・ 方向性欄については、目標が達成されていない場合であっても、現行より事業量を増やす必要があれば「拡充」とすること。
- ・ 事業内容が似かよった調書が見受けられる。同様の事業であれば、同一の点検評価調書にまとめた方が良いのではないかと。（今後の課題）
- ・ 総合評価欄については、担当レベルの意見で記載するのではなく、部署内で十分協議を行い、課として統一的な評価内容とすること。

4 総合評価

事業評価も回数を重ねるごとに、評価項目、評価の指標の設定、評価の基準等について、より分かりやすい、より効果的な評価方法へと改善が進められてきているように感じられる。特に、平成25度からは、各種スポーツ施設、公民館、博物館・資料館、各種スポーツ大会等の事業が市長部局へ移管されたことにより、今回は、教育委員会に関係の深い事業に限定して評価することになり、事業の内容や評価の方法・基準等についてかなり踏み込んだ議論がなされるようになってきた。たとえば、これまで「今後の方向性」の評価について、「そのまま継続」としてきたものを、これでは今の状態のままで継続させるという意味にとられがちであるので、そのやり方や対象者等について「今後とも工夫しながら継続する」とい

う意味で、単に「継続」という表現にしたことなどがその改善例のひとつである。こうして、年々、事業評価の項目、やり方が改善されてきたことを認めながら、今後は、以下のような点で、さらなる工夫や改善が必要ではないかとの指摘がなされた。

① 指標に対する「評価」の項目及び総合評価の書き方について

現在は、「目的の達成状況(有効性)」と「内容(目標)の達成状況(活動状況)」という項目に分かれており、それぞれ4段階で評価するようになっている。しかし、「目的の達成状況(有効性)」と「内容(目標)の達成状況(活動状況)」は、厳密に区別することが難しく、また、目標値が設定しにくい事項(たとえば心の悩み相談件数等)もあり、今後は、両者を一つにまとめて、総合的に「達成状況」として評価することが良いのではないと思われる。また、最後の総合評価の書き方が、部署ごとにまちまちであり、今後は、上位施策への貢献・市関与の必要性、達成状況、今後の課題というように書き方を統一したらどうかという意見も出された。

② 同種の事業についての統合かつ効果的な運用について

教育委員会内部でも、たとえば、「心の教育相談事業」と「教育相談事業」とは、同じような教育相談機能を持った事業であり、将来的には、心の教育相談センターなどの設置により、統合して、より効果的な運営の方向をさぐることも検討されて良いのではないと思われる。「放課後子どもプラン」にしても、子育て支援課で実施している「放課後児童健全育成事業(児童クラブ)」と似たような機能を持つ事業であり、今後は、管轄部局を超えて、事業の統合と効果的な事業の実施が考えられるべきであろう。

上記のような課題に応えつつ、今後とも、天草市教育委員会事業評価事業は、単に個別事業の達成状況の点検作業だけではなく、それぞれの事業のより効率的な運営、あるいは有効的な活用のためには、これからどうすればいいのか、何が必要なのかという建設的視点にたって、将来展望を持った仕組みとして実施されて行くことが望まれる。

V 今後の方向性

- (1) 点検評価調書の様式の見直し(評価欄等)を行うとともに、内部評価についても統一的な「評価」となるよう、部署内で十分協議・検討を行う。
- (2) 点検評価員の意見を真摯に受け止め、事業を整理するか、もしくは、充実させるか等について検討を重ね、今後の教育行政の運営に反映させる。
- (3) 点検評価の結果を次年度の予算に反映させるため、毎年9月市議会定例会に報告する。

基本目標	基本方針	努力目標	事務事業名		部門
夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり 自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成	道徳教育や人権教育を推進し、思いやりや規範意識をもった豊かな感性を育て、心の教育の充実を図る。	1	道徳教育・人権教育の推進（学校訪問指導）	学校教育課
			2	天草市特別支援教育総合推進事業	
			3	環境教育の推進（環境にやさしい学校づくり）	
		教育相談体制を充実するとともに、いじめや不登校、問題行動等の解消及び未然防止に向けた取組を推進する。	4	心の教室相談事業	
			5	教育相談事業	教育総務課
		安全・安心で快適な施設の整備充実を図る。	6	小学校施設耐震補強事業	
			7	中学校施設耐震補強事業	
			8	五和小中学校建設事業	
			9	小学校施設営繕事業	
			10	中学校施設営繕事業	
	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成	家庭教育力の回復に向けて、保護者等に対する講座の開催や情報の提供を行い、家庭教育の充実と推進を図る。	11	家庭教育学習支援事業	生涯学習課
		基礎・基本や自ら考える力を身につけさせ、確かな学力の向上に努めるとともに、健康・体力の向上を図る。	12	学校教育研究委員会	学校教育課
			13	外国青年教師招致事業	
			14	学習指導補助教員設置事業	
			15	読書活動支援事業	
		教育専門職としての指導力を向上させるとともに、信頼される教職員としての意識改革を図る。	16	姉妹都市教育交流事業	教育総務課
			17	学校訪問指導の充実	学校教育課
			18	市指定研究推進校補助金	

点検評価事業一覧

基本目標	基本方針	努力目標	事務事業名		部門
夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり 自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成	安心・安全でおいしい給食の提供に努めるとともに、地産地消を推進する。	19	地産地消の推進	学校給食課
		学校の統廃合による学校規模適正化計画を策定し、教育効果を重視した学校づくりを推進する。	20	小・中学校統合推進事業	教育総務課
		家庭・学校・地域の連携を強化し、青少年教育に携わる指導者の育成や青少年団体の自主活動の支援など地域教育力の向上と青少年の健全育成に努める。	21	成人式	生涯学習課
	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成	地域住民が気軽に集える場としての社会教育施設の整備の充実を図り、生涯学習の奨励と普及を推進する。	22	自治公民館等整備費補助金	
			23	公民館改修事業	
		図書館は、市民の読書活動を推進するためボランティアの協力を得ながら、地域や家庭に広がっていくよう図書館事業を展開する。また、市民の情報センターとして、多様な要求に応えるとともに、情報を収集・管理し広範な知識や情報の発信に努める。	24	移動図書館	
			25	童話発表会	
			26	公民館生涯学習推進事業	
	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進	家庭や地域と連携し、学校を支援する体制づくりを進め、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。	27	コミュニティ・スクールの推進に向けた取り組み	学校教育課
			28	学校の自己評価	
		人権に対する正しい認識と理解を深めるための学習の機会を提供し、市民の人権意識の高揚と人権尊重の実践に努める。	29	社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会	生涯学習課
		家庭・学校・地域の連携を強化し、青少年教育に携わる指導者の育成や青少年団体の自主活動の支援など地域教育力の向上と青少年の健全育成に努める。	30	放課後子どもプラン	
			31	青少年健全育成事業	

点検評価調書		整理番号	1					
事業名	道徳教育・人権教育の推進(学校訪問指導)			担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容 学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市教育目標の努力目標「道徳教育や人権教育を推進し、思いやりや規範意識をもった豊かな 感性を育て、心の教育の充実を図る。」に基づき、人材の育成及び児童・生徒の個性の尊重を図り、 併せて本市教育水準の向上に資するため、市内小・中学校の現状を把握するとともに、学校教育の 一層の充実を図るため、学校訪問を行っている。							
内 容	○学校訪問時の指導内容 ・関係法規や児童生徒の実態、重点目標が明記された全体計画が作成されているか。 ・各教科、領域等との整合性のある年間指導計画が作成されているか。 ・児童生徒の発達段階に即した系統的な指導計画が作成されているか。 ・計画に即した実践が行われ、記録されているか。 ○授業参観時の指導 ・学習指導案に人権教育の視点が位置づけられているか。 ・人権に配慮した授業が展開されているか。 ・道徳学習指導要領に即した指導が行われているか。							
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価			
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度	上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
		実施学校数	校	目標値 48 実績値 48				
				目標値 実績値	4	4	4	4
総 合 評 価	学校訪問7日前には、各学校から道徳教育・人権教育の教育指導計画を提 出させ、全体計画・年間指導計画の上記視点での点検・評価を行い、一覧表 に指導事項として整理して各学校に渡している。その結果、前年の指導を基 にした改善が図られている。計画の充実、実践の充実にもつながってい る。また、実践記録は次年度の計画・実践の改善に活用されている。実際に 授業参観時の上記の視点での指導は、分科会で直接授業者に伝え、その後 反省・指導として文書で提出することになっている。このように、学校訪問で道 徳教育・人権教育の推進が図られるよう指導を行っている。							
					方向性	継続		

点検評価調書		整理番号	2						
事業名	天草市特別支援教育総合推進事業			担当課係名	学校教育課 指導係				
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	社会の変化や子どもの障がいの重度・重複化、多様化に対応し、発達障害を含む障がいのある子 どもや特別な支援を必要とする子どもの一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育や支援の実 施に向けて、幼稚園・保育所(園)・学校・教育委員会・学識経験者・関係機関・保護者等の関係者か らなる天草市特別支援教育連携協議会及び中学校区ごとの地区連携協議会を(13区)を設置し、天 草市の特別支援教育の総合的な支援体制の整備及び特別支援教育の推進を図る。								
内 容	本事業の主たる内容をコーディネーター研修、地区コーディネーター会議及び巡回相談とし、その 実施を通して幼稚園・保育所(園)・学校における特別支援教育体制の整備の推進を図る。 コーディネーター研修は全体研修、リーダーコーディネーター研修の2種類を開催する。全体研修は 発達障害の理解及び各学校段階に応じた部会別研修を中心とする。リーダーコーディネーター研修 は事業内容説明やコーディネーターの役割等を中心とした研修、地区コーディネーター会議の運営や 校内委員会の運営等に関する実務研修を行う。 地区コーディネーター会議は地区連携協議会が開催し、地区内の園・学校の事例検討、情報交換 等を行い、段階的支援体制における園・校内委員会の上位の機関としてその機能化を図り、地区の 特別支援教育の推進を図る。 巡回相談は、研修から個別の相談まで園・学校のニーズに応える内容とする。個別の相談の対象 については、幼稚園・保育所(園)、小・中学校及び高等学校に在籍する幼児・児童・生徒とする。								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	238 (一般 238)	会議開催回数	回	目標値	6				
				実績値	6				
		巡回相談件数	件	目標値	4	4	4	4	
実績値	148								
総 合 評 価	コーディネーター研修については、市全体の課題である「特別支援教育に 対して全ての教職員の理解を進める園内・校内研修の充実」を目指して、事 例研究と実践発表を設定し、研修を実施した。その結果参加者の実践への意 欲の向上を図ることができた。日々の教育活動の中で、どのような視点で研 修を行うか、また、どのように時間確保していくのかという講話により園内・校 内での共通理解を促し、児童生徒の教育的ニーズにつながる研修について、 市内の特別支援教育コーディネーターへ広めることができた。巡回相談にお いては、園・学校のニーズに応じることのできる巡回相談員を委嘱していた だき、要望に応じた相談が行われている。巡回相談により、児童生徒の困り感 を把握し、個別の支援のあり方や校内支援体制の向上につながりつつある。						方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	3						
事業名	環境教育の推進(環境にやさしい学校づくり)			担当課係名	学校教育課 指導係				
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	児童・生徒が、環境や環境問題に関心をもち、人間活動と環境との関わりについての総合的な理解 の上に立って、持続可能な社会の構築をめざして環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる 技能や態度を育成する。								
内 容	各学校における環境教育の充実を図るとともに、児童・生徒が自ら考え行動し、環境にやさしい学 校づくりのための学校版環境ISOコンクールに取り組む。 具体的には、校内ISO委員会を中心とした児童生徒の主体的な活動のもとで、宣言項目の決定、 行動計画の作成、そして、実践、見直しといったPDCAの取組みを進める。								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等		指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
		実施学校数	校	目標値	48				
				実績値	48				
				目標値		4	3	4	4
				実績値					
総 合 評 価	学校版環境ISOコンクールへ市内全小・中学校が参加することにより、「宣言 →行動→点検→見直し」の基本的なサイクルをもとに、各学校の地域性等を 生かした特色ある活動が展開されている。各学校において、全ての教育活動 における環境教育の充実が図られており、児童・生徒の環境保全に対する意 識が高まっている。栖本中は、ISOコンクールで特別賞を受賞するとともに、 河浦小、河浦中は優秀賞を受賞しており、管内小・中学校の先導的な取組を 行っている。今後も取組を継続し、活動が充実している学校については、市で 表彰することも考えていく。					方向性	継続		

点検評価調書		整理番号	4					
事業名	心の教室相談事業			担当課係名	学校教育課 教務係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	中学校6校の相談室に「心の教室相談員」を1人配置し、不登校気味の生徒の適応指導や問題行 動等に関係する生徒の教育相談等を実施し、問題解決に向けた指導、援助を行う。							
内 容	[心の教室相談員] 心の教室相談員は、本渡地区2校、牛深地区1校、五和地区1校、天草地区1 校、河浦地区1校 計6校へ配置 業務内容:① 教育相談 ② 相談室登校への対応 ③ 保 護者との連携推進 報酬:時間当たり1,000円 週20時間以内							
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評 価			
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度	上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	4,174 (一般 4,174)	相談件数	回	目標値 実績値 3,595				
			相談員設置校数	校	目標値 実績値 6	4	4	4
総 合 評 価	心の悩みを持った生徒に対応していくため、相談員は今までの経験を踏ま え、良きアドバイスを行うことにより問題解決に繋がっている。このため、当初 の目的は十分達成しており、今後も継続すべき事業と考える。 また、相談員を市内全中学校に配置できるよう検討を行う必要がある。					方向性	拡充	

点検評価調書		整理番号	5						
事業名	教育相談事業			担当課係名	学校教育課 指導係				
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	開かれた学校づくりの推進			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	教育相談員（教育相談カウンセラー、教育指導アドバイザー）を配置し、子育ての悩み・不安・ストレス等を持つ就学前幼児の保護者及び、小・中学校の児童・生徒やその保護者を対象にした相談活動を充実させ、保護者の子育てを支援する。 また、必要に応じて教職員の悩みや学校での諸問題についての相談を実施する。								
内 容	教育相談カウンセラー（臨床心理士・言語聴覚士等）は要請のあった園、学校に出向きカウンセリングを実施。助言指導や情報の提供を行う。また、教職員等の研修講師や保護者講話等も行う。教育指導アドバイザーは相談のほか教育全般への指導助言を実施。								
・全体計画、概要 （平成24年度） ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	3,686 (一般 3,686)	カウンセラー人数	人	目標値	5				
					実績値	5			
		カウンセリング件数	件	目標値		4	4	4	4
				実績値	122				
総 合 評 価	子育て全般(子どもの発達や不登校等)や特別支援教育等で不安を抱える保護者、また関係教職員からのニーズは依然として高く、就学前の幼児及び小・中学校の児童・生徒の健全な育成を図るために有効である。目的達成度は高い。						方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	6						
事業名	小学校施設耐震補強事業				担当課係名	教育総務課 施設管理係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上		施策の内容	学校教育施設等の整備		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校施設は、児童生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の緊急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要であるため、旧耐震基準(昭和56年5月以前)で建築された建物(非木造で2階建て以上または延床面積200㎡超)について、早急に耐震化を図る必要がある。								
内 容	【耐震補強工事】 23年度からの繰越分 535,420千円(本渡南小校舎・体育館、佐伊津小体育館、久玉小体育館) 【工事監理委託料】 23年度からの繰越分 8,715千円(本渡南小校舎・体育館、佐伊津小体育館、久玉小体育館)								
・全体計画、概要 (平成24年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの (3月末現在)			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	544,135 国(179,438) 一般(364,697)	耐震化率	%	目標値	100				
				実績値	100				
		耐震化済棟数	棟	目標値	8	4	4	4	4
				実績値	8				
総合評価	校舎5棟、体育館3棟の耐震補強を行い、耐震性能の向上を図ることが出来た。 平成24年度末に耐震化率100%(廃校予定の魚貫小校舎1棟、宮野河内小校舎1棟を除く。)となった。						方向性	終了	

点検評価調書		整理番号	7						
事業名	中学校施設耐震補強事業				担当課係名	教育総務課 施設管理係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上		施策の内容	学校教育施設等の整備		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校施設は、児童生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の緊急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要であるため、旧耐震基準(昭和56年5月以前)で建築された建物(非木造で2階建て以上または延床面積200㎡超)について、早急に耐震化を図る必要がある。								
内 容	【耐震補強工事】 23年度からの繰越分 714,074千円(牛深中校舎、倉岳中校舎・体育館、新和中校舎、天草中校舎) 【工事監理委託料】 23年度からの繰越分 11,424千円(牛深中校舎、倉岳中校舎・体育館、新和中校舎、天草中校舎)								
・全体計画、概要 (平成24年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの (3月末現在)			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	725,498 国(249,843) 一般(475,655)	耐震化率	%	目標値	100				
				実績値	100				
		耐震化済棟数	棟	目標値	11	4	4	4	4
				実績値	11				
総合評価	校舎10棟、体育館1棟の耐震補強を行い、耐震性能の向上を図ることが出来た。 平成24年度末に耐震化率100%となった。						方向性	終了	

点検評価調書		整理番号	8						
事業名	五和小中学校建設事業				担当課係名	教育総務課 学校統合推進係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育施設等の整備			
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	耐震診断結果、耐震性が低かった五和東・西中学校を統合し、五和中学校を建設。また、五和町内の小学校も併せて統合・建設し、小中一貫教育のモデル校として、児童生徒が安心して学校教育を受ける環境の向上を図る。								
内 容	【事業期間】 平成21年度から26年度 【事業費】 685,310,814円 ・用地造成工事費 326,641,156円 ・校舎、体育館建設費 306,030,000円 ・仮設校舎リース料 23,532,369円 ・解体工事ほか 18,371,395円 ・大島地区排水対策 8,267,303円 ・建築確認手数料 1,345,000円 ・事務費 1,123,591円								
・全体計画、概要 (平成24年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	685,311 国(164,610) 一般(520,701)	整備校数	校	目標値	1				
				実績値	1				
					目標値				
					実績値				
4	4	4	4						
総 合 評 価	五和小中学校建設のための用地造成工事や校舎・体育館の建設工事を行った。 平成26年4月開校に向け計画どおりに進んでいる。						方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	9						
事業名	小学校施設営繕事業				担当課係名	教育総務課 施設管理係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上		施策の内容	学校教育施設等の整備		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	小学校35校(分校含む)の施設の危険箇所及び老朽箇所を把握し、児童の安全確保と教育環境の 維持向上を図るため修繕、改修を行う。								
内 容	【小学校の危険箇所、老朽箇所等の修繕、改修工事】 ●総事業費 38,697千円 ●事業内容 ・設計委託料 1,559千円 ・営繕工事費 37,138千円 【主として整備した内容】 ・体育館屋根改修、浄化槽設置、理科・家庭科教室改修、特別支援教室改修、屋外便所解体、通学 路拡張、駐車場整備、給水設備改修、バックネット設置、フェンス設置、排水路整備、手摺設置、プー ル配管改修等小学校31件の工事を実施								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	38,697 (一般 38,697)	整備箇所数	件	目標値	40				
				実績値	31				
							4	4	3
総合評価	各学校の規模及び構造、建設年度により、劣化、優先工事に違いがあり、 年度内の調整は非常に難しい状態である。その中で緊急性の高い事業及び 予定工事については、何とか実施する事ができたと思われる。今後も各学校 の状態を把握し、計画的に工事に入れるようにしたい。ただし、予定外に、特 別支援教室増設等の工事が他課から入り込む事もあった。							方向性	継続

点検評価調書		整理番号	10						
事業名	中学校施設営繕事業			担当課係名	教育総務課 施設管理係				
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育施設等の整備			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	中学校13校の施設の危険箇所及び老朽箇所を把握し、生徒の安全確保と教育環境の維持向上を 図るため、計画的に修繕・改修を行う。								
内 容	【中学校の危険箇所、老朽箇所等の修繕、改修工事】 ●総事業費 19,685千円 ●事業内容 ・設計委託料 1,396千円 ・営繕工事費 18,289千円 【主として整備した内容】 ・駐輪場改築、浄化槽排水管改修、フェンス門扉設置、受電設備改修、通学路該当設置、特別支援 学級改修工事等中学校14件の工事を実施								
・全体計画、概要 (平成24年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	19,685 (一般 19,685)	整備箇所数	件	目標値	20				
				実績値	14				
							4	4	3
総合評価	各学校の規模及び構造、建設年度により、劣化、優先工事に違いがあり、 年度内の調整は非常に難しい状態である。その中で必要性のある緊急事業 及び予定工事については、何とか実施する事ができたと思われる。今後も各 学校の状態を把握し、計画的に工事に入れるようにしたい。					方向性	継続		

点検評価調書		整理番号	11						
事業名	家庭教育学習支援事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係				
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	快適な生活環境づくり	施策	人と人が支え合うまちづくり	施策の内容	青少年の健全育成			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	子育てやしつけ又は思春期の子どもが抱える悩みや問題等を通じて家庭教育のあり方を見直す機会を提供し、家庭における教育力の再生を図ることを目的とする。保護者に家庭教育の重要性を再認識する機会としてもらうことができ、保護者にとって最も身近な学校で開催することにより、市全体を対象とするよりも参加しやすく、より多くの参加が見込める。また、各小中学校(保護者会)の負担が少なくなることにより、各校での計画を促進する効果がある。								
内 容	各小中学校に就学時健診やPTA行事等の際、家庭教育に関する講座を開催してもらい、講師謝礼や旅費等の経費は市が支出する。 ・実施回数 49回 延べ参加者数 2,858人								
・全体計画、概要 (平成24年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	85 (一般 85)	参加者数	人	目標値	2,500				
				実績値	2,858				
				目標値		4	4	4	4
				実績値					
総 合 評 価	子育てにおける家庭教育の重要性を再認識する機会として開催した。テーマも基本的な生活習慣、食育、健康教育など多岐にわたり、なかでも「親の学び」プログラムは、小中学校あわせて19校で実施された。今後は、「親の学び」プログラムのさらなる普及と若年層や男性の参加者を増やすための対策が必要である。 ※「親の学び」プログラムとは、参加体験型(参加者同士の話し合いや振り返り)の学習スタイルで、子育てのポイントを身近な話題から楽しく学んでもらうためのプログラムであります。						方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	12						
事業名	学校教育研究委員会				担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	教職員で構成する学校教育研究委員会の教科、教材の研究等成果を天草市内小・中学校に普及 し、学習指導の充実振興を図る。								
内 容	「教育課程に関すること」、「いじめ不登校問題に関すること」、「小中一貫教育研究に関すること」の3 つの課題に対して、それぞれ専門部を置き、調査・研究を進める。 ＜教育課程部会＞ 市内の幼稚園、小学校、中学校の園児や児童生徒の確かな学力や豊かな人間性を培うために、調 査・研究を進め、市内の幼稚園・小・中学校に研究成果を提供する。本年度は、算数・数学の評価問 題を作成。 ＜いじめ不登校問題部会＞ 市内の小・中学校児童生徒の「いじめ問題」の解決を図るために、実践的に調査・研究を進め、その 研究成果を提供する。 ＜小中一貫教育研究部会＞ 小中一貫教育の基礎研究を行うとともに、天草市のめざすべき小中一貫教育の姿を研究する。								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	900 (一般 900)	教育課程部会開催回数	回	目標値	28				
				実績値	28				
		いじめ不登校部会開催回数	回	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4				
総 合 評 価	平成24年度は、学習指導要領の改訂に伴い、市内の小・中学校の算数・数 学における活用力を向上させるための問題集を作成し、これを市内全小・中 学校に配付した。学習指導要領の完全実施に伴い、思考力、判断力、表現力 等の育成が喫緊の課題である。これら問題集を活用することで、「確かな学 力」の育成に資すると考えられる。						方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	13						
事業名	外国青年教師招致事業			担当課係名	学校教育課 教務係				
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	国際化・情報化の推進			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	生きた外国語を市内小・中学生に学習させるため、外国語指導助手11人を市内小・中学校に巡回 方式で配置し、語学指導等を行い、国際交流・異文化交流を推進する。 平成23年度から小学校5・6年生において外国語活動が必修となっており、定期的に小学校への 巡回も行い、生きた外国語に触れる良い機会となっている。								
内 容	外国語指導助手11人を市内小・中学校に巡回方式で配置し担任教諭とのチーム・ティーチングに より語学指導等を行う。公立の幼稚園・保育園にも訪問し国際理解教育の充実を図っている。地域に おいては、社会教育、地域行事へのボランティア参加を促し国際交流・異文化交流の推進を図ってい る。								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	49,846 (一般 49,846)	外国語指導助手人数	人	目標値	11				
				実績値	11				
				目標値		4	4	3	4
				実績値					
総 合 評 価	現在、本渡地区に3人、旧市町に8人を配置している体制であるが、エリア を広げて複数人体制で実施し、巡回訪問回数の差を解消させ、また様々な人 とのコミュニケーションをとることで幅を広げている。 なお、ALTの招致については、外部委託なども検討していく必要があると思 われる。						方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	14							
事業名	学習指導補助教員設置事業				担当課係名	学校教育課 教務係				
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上		施策の内容	学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成						
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	小学校及び中学校においてチーム・ティーチング等きめ細やかな指導を行うことにより、児童・生 徒の発達段階に応じた学校教育の実現を図るために、小・中学校の教員免許状を持つ者を補助教 員として配置を行うものである。									
内 容	配置基準及び配置人員 (1) 小学校1学年、2学年に31人以上の学級がある学校 ・平成22年度 6校 13人 ・平成23年度 2校 6人 ・平成24年度 1校 4人 (2) 発達障害等特に配慮を要する学校 ・平成22年度 17校 19人 ・平成23年度 22校 32人 ・平成24年度 25校 37人 (3) 複式学級がある学校 ・平成22年度 6校 6人 ・平成23年度 2校 3人 ・平成24年度 2校 3人									
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価					
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)	
	104,099 (一般 104,099)	学習指導補助教員の 配置数(年度末時点)	人	目標値	79					
				実績値	44					
					目標値		4	4	4	3
					実績値					
総 合 評 価	学習指導補助教員の設置については、各学校において特に配慮を必要と する子どもも多く、効果も上がるため、学校からの配置要望が多い。また、少 人数学級(複式学級)等への配置要請もあるため、今後も各学校の状況を把握 しながら適正な配置を行う必要がある。 なお、平成24年度当初予算において、学習指導補助教員3人分の増が認め られた。このため、年度当初40人配置を行い、その後、学級等の状況によ り追加配置を行うことができた。(平成24年度末44人配置した。)						方向性	拡充		

点検評価調書		整理番号	15						
事業名	読書活動支援事業				担当課係名	学校教育課 教務係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校教育において、児童の豊かな感性を磨き、表現力を高め想像力を豊かにしたり、情報活用能 力を向上させたりするなど効果的な読書活動や多様な学習活動を推進するため、司書教諭及び学校 図書館に関する業務補助を専門とする学校司書の拠点配置を行う。これにより、全小・中学校を巡回 方式により業務を行い、学校図書館教育の充実を図る。								
内 容	図書館業務の専門的知識を有する学校司書を天草市内小・中学校(48校)に、巡回配置の3校に1 人の割合で巡回配置する。 ○平成20年度 16人 ○平成21年度 20人 ○平成22年度 19人 ○平成23年度 20人 ○平成24年度 20人 ※ 市内を20巡回校区に分割し、巡回配置…20人								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	37,447 (一般 37,447)	学校司書配置数	人	目標値	24				
				実績値	20				
					目標値		4	4	4
			実績値						
総 合 評 価	学校司書の配置については、子どもたちの読書活動の推進、図書室の環 境整備等、学校並びに地域からも大変大きな評価を得ている。学校統合が進 み、学校数が減少しているが、国が示した学校司書一人当たり2校を巡回配 置するという基準をめざして配置を検討する必要がある。						方向性	拡充	

点検評価調書		整理番号	16						
事業名	姉妹都市教育交流事業				担当課係名	教育総務課 総務企画係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	国際交流の推進		施策の内容	姉妹都市交流の推進		
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	・天草市と本市の姉妹都市である米国・エンシニタス市が相互に隔年毎に学生を派遣・受入れ、異なる文化や外国語を学び、市民生活や学校生活を体験しながら国際交流を深め、幅広い視野と国際感覚を身につけ、21世紀の郷土を担う心身ともにたくましい青少年の育成を図ることを目的としている。 ・活動・成果の指標は、下記項目についての実施の有無とする。 ①ホストファミリーとの交流、②小・中・高校生と交流、③地域住民との交流								
内 容	アメリカ合衆国カリフォルニア州エンシニタス市より学生を受け入れ、7月26日から8月2日までの8日間、ホストファミリー宅にそれぞれ滞在し、市内の名所や施設を訪問した。 生徒との交流活動では、有明中学校を訪問し、生徒と一緒に書道や剣道に取り組むなど、異国の文化に触れながら興味深く交流を深めた。								
・全体計画、概要 (平成24年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	347 (一般 347)	交流項目	項目	目標値	3				
				実績値	2				
				目標値		3	3	3	3
				実績値					
総 合 評 価	異文化体験や国際理解を深めることにより、相互間において大変意義のある事業となった。各施設や学校を訪問することにより、交流生や市民にとって、刺激的・効果的な機会が生まれ、目的を十分に達成することができた。 今後も、更に受入体制の整備を行い、市民との協働で取り組みを強化していく。 なお、学生の選出方法等についても課題があり、今後検討が必要である。						方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	17						
事業名	学校訪問指導の充実				担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上		施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市教育委員会の教育目標及び基本方針に基づき、学校教育の大きな課題である社会の変化 に対応できる人材の育成及び児童・生徒の個性の伸長を図り、あわせて本市教育水準の向上に資 するため、市内小・中学校の現状を把握するとともに、学校教育の一層の充実を図るため、全日総合 訪問、経営訪問、事務局訪問を行う。								
内 容	[総合訪問]・・・小学校15校、中学校 7校 合計22校 (幼稚園 1園) [経営訪問]・・・小学校20校、中学校 5校 合計25校 (幼稚園 3園) [事務局訪問]・小学校 0校、中学校 1校 合計 1校								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
		実施校数	校	目標値	48				
				実績値	48				
		実施園数	園	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4				
総 合 評 価	学校訪問の形態は異なるが、全小・中学校及び4幼稚園を訪問し、それぞれの 学校(園)において、課題解決に向けた着実な実践を確認することができ た。特に、授業参観や分科会指導では、基本的な学習態度の定着や一人一 人に確かな学力が育成されている様子を、児童生徒の生き生きとした姿を通 して、把握することができた。今後とも分科会や全体会をさらに充実させ、訪 問校の全校的な取組の充実や教師の授業力向上を目指して、積極的に取り 組んでいきたい。						方向性	継続	

点検評価調書	整理番号	18
--------	------	----

事業名	市指定教育研究推進校補助金				担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校教育の充実、教育向上に資するため、研究校を指定し天草市独自の事業を実施する。								
内 容	研究推進校を指定し独自の事業を実施 市指定校 5校(小学校3校、中学校2校) ・学力充実研究推進校 : 本渡北小、新和小、本渡中 ・ふるさと教育研究推進校 : 楠浦小 ・健康教育(食育)研究推進校 : 河浦中								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	1,000 (一般 1,000)	指定校数	校	目標値	5				
				実績値	5				
				目標値		4	4	4	4
				実績値					
総 合 評 価	教育改革や学習指導要領の改訂等に伴い、市全体の教育の質の維持向上のためには、是非必要な取り組みである。特に、児童・生徒の「確かな学力」の育成と教職員の教育指導力の向上は、本市にとって最重点課題である。指定希望も、例年多くの学校から上がっており、指定校の校内研修充実に加えて、天草市の教職員に対しても公開授業を実施し、各学校の教育的な課題の解決に役立っている。						方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	19						
事業名	地産地消の推進				担当課係名	学校給食課			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上		施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	安心・安全でおいしい給食の提供に努めるとともに地産地消を推進する。								
内 容	地元の旬の野菜等生産物の購入により、感謝の心を育てたり、地域資源でもある農水産物に興味をもたせ、生産者等の顔の見える給食づくりを目指す。 (平成24年度 学校給食費 355,986,145円 地産地消額 51,025,366円)								
・全体計画、概要 (平成24年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施策 (目標)への貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
		天草産 (金額割合)	%	目標値	15.00				
				実績値	14.33				
				目標値		4	4	4	4
			実績値						
総 合 評 価	栄養教諭や学校栄養職員と連携をとり、また小売業者や生産者を含めた話し合いをすすめることにより、天草産の農水産物の使用率の向上が図られた。						方向性	拡充	

点検評価調書		整理番号	20																														
事業名	小・中学校統合推進事業				担当課係名	教育総務課 学校統合推進係																											
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり		施策	学校教育のレベル向上		施策の内容	学校教育の質的向上																									
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり		基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成																												
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に基づき、複式学級の解消と学校規模の適正化により、活力ある児童・生徒の育成を目指す。 ○小学校 小学校42校(分校を含む)を17校にする。 ○中学校 中学校15校を13校にする。 ○学校数の年度別推移 単位:校 <table><tr><td>年 度</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr><tr><td>小学校</td><td>42</td><td>41</td><td>35</td><td>29</td><td>22</td><td>22</td><td>17</td></tr><tr><td>中学校</td><td>15</td><td>15</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td></tr></table>									年 度	22	23	24	25	26	27	28	小学校	42	41	35	29	22	22	17	中学校	15	15	13	13	13	13	13
年 度	22	23	24	25	26	27	28																										
小学校	42	41	35	29	22	22	17																										
中学校	15	15	13	13	13	13	13																										
内 容	1統合の組合せごとの統合推進協議会等を設置し、統合に向けての協議を行った。 (1)統合推進協議会 ・設置数 7協議会 ・開催回数 14回 ・主な協議の内容 統合の時期、校名の選定、学校用地の選定 (2)統合準備委員会 ・設置数 3委員会 ・開催回数 16回 ・主な協議の内容 校歌、校章及び標準服・体育服等、スクールバス運行計画等 2平成24年度統合により廃校となった学校 【天草地区】福連木小学校、下田北小学校、下田南小学校、高浜小学校、大江小学校 【河浦地区】河浦小学校、新合小学校、宮野河内小学校 3総事業費 【小学校統合推進事業】70,698千円(工事請負費55,737千円、使用料及び賃借料4,759千円、委託料3,638千円、補助金3,500千円、公有財産購入費1,383千円、その他事務費1,681千円) 【中学校統合推進事業】3,518千円(委託料3,115千円、使用料及び賃借料403千円)																																
・全体計画、概要 (平成24年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの				評 価																											
	平成24度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施策 (目標)への貢献	市関与の必要性	目的の達成状況 (有効性)	内容(目標)の達成状況 (活動状況)																								
	74,216 (一般 74,216)	小学校数	校	目標値	29																												
		中学校数	校	実績値	29																												
					目標値	13																											
実績値		13																															
総 合 評 価	学校規模適正化推進計画に基づき、学校統合をスムーズに進めるため、統合推進協議会等を設置し、統合について保護者の代表、地区振興会・区長の代表、保育所・幼稚園の代表者、学校の代表者等で協議を行うことができた。この協議により、計画どおりの統合ができた。十分評価できる。							方向性	継続																								

点検評価調書		整理番号	21						
事業名	成人式				担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	快適な生活環境づくり	施策	人と人が支え合うまちづくり		施策の内容	青少年の健全育成		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ますため「新成人のつどい」を実施する。明るい選挙を推進し、交通安全についても再考する機会となるよう式典に取り込む。久しぶりに再会する友人や恩師と旧交を温める良い機会にもなっている。								
内 容	式典を開催し終了後記念撮影をして、天草市からの記念品として贈呈している。 ・ 各地区ごとに実施：牛深8月16日・本渡・倉岳・有明・栖本・天草・河浦 1月3日・御所浦・新和・五和 1月4日 (10地区で開催) 対象者数 1,057人 参加者数 900人(参加率 85.1%)								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	1,123 (一般 1,123)	参加率	%	目標値	85.0				
				実績値	85.1				
		参加者数	人	目標値	898	4	4	4	4
				実績値	900				
総 合 評 価	地域で特色ある成人式の継続を望む声が多いため、当面は各地区で開催して継続するが、地域においては、対象少数が減少しており、市で一本化又は近隣旧市町村合同での開催を検討する必要がある。						方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	22						
事業名	自治公民館等整備費補助金			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係				
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	コミュニティ活動の推進	施策の内容	コミュニティ施設の整備			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	社会教育の推進に必要な地域の活動拠点等の整備に対して補助をすることにより、地域の社会教育 活動を促進し、社会教育の振興発展を図る。 地域住民の連帯意識の高揚が図られ、自治活動が活性化することによって、社会教育の振興及び住 民自治による地域づくりが促進される。								
内 容	公民館等を整備する。新築、改築等の場合で事業費が30万円を超えると、建設費の35%（最高限 度額250万円）を補助する。 ・改修等 8件								
・全体計画、概 要 （平成24年度） ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	3,192	申請者数	件	目標値	10				
				実績値	8				
	(一般財源) 3,192			目標値		4	4	3	3
			実績値						
総 合 評 価	自治公民館が整備されることにより、地区住民の連帯意識の高揚につな がり、自治活動が活性化することによって、明るく住みよい地域づくりに寄与し た。 なお、平成25年度からは、組織機構見直しに伴い、まちづくり支援課に所管 換えとなった。					方向性	市長部 局へ移 管		

点検評価調書		整理番号	23						
事業名	公民館改修事業			担当課係名	生涯学習課 公民館係				
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	コミュニティ活動の推進		施策の内容	コミュニティ施設の整備		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	生涯学習の拠点として多様化する学習ニーズに対応するため、老朽化した公民館の施設整備を実施し、利便性を高め利活用の促進を図る。								
内 容	公民館を整備する。 1,【業務委託合計976, 500円】①本渡南公民館トイレ改修工事設計②高浜公民館大会議室空調設備改修工事設計③宮野河内公民館鋼製建具改修工事設計④佐伊津町公民館屋根改修工事外設計 2,【改修工事合計14, 972, 999円】①本渡南公民館トイレ改修②高浜公民館大会議室空調設備改修③宮野河内公民館建具改修④佐伊津町公民館屋根改修⑤大島公民館非常階段改修⑥本町公民館給水設備工事 【総合計費】15, 949, 499円								
・全体計画、概要 (平成24年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	15,950	改修等施設数	施設	目標値	6				
				実績値	6				
	(一般財源) 15,950			目標値		4	4	4	4
				実績値					
総 合 評 価	平成25年度から公民館の再編により、各地区に10の公民館が設置され、本渡地区公民館及び御所浦地区公民館越地分館以外は地区コミュニティセンターへ移行した。本渡地区公民館については、平成25年度耐震診断の調査を実施するので、その調査結果により対応する。						方向性	一部を残して市長部局へ移管	

点検評価調書		整理番号	24						
事業名	移動図書館				担当課係名	生涯学習課 天草市立中央図書館庶務係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進		施策の内容	生涯学習の推進		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	図書館のない地域、図書館から遠い市民への利便性と利用者拡大の取り組みとして、移動図書館車で地域をまわり、読書振興につなげる。また、子ども読書推進計画をもとに、小学校・幼稚園・児童館等への図書の貸出を拡大し、学校図書館に所蔵していない図書との出会いの場を提供する。								
内 容	移動図書館車3台・公用車1台により天草全域を実施している。 ①中央図書館から本渡・新和・有明・栖本・倉岳地区へ39か所実施(平成9年度購入) ②河浦図書館から河浦・牛深・天草地区へ47か所実施(22年度経済対策により購入) ③御所浦図書館から横浦島を含む御所浦全地域17か所実施(23年度天草町より移管) ④五和図書室から五和地区8か所実施(公用車使用) 合計111か所 移動図書館利用者数 10,024人 " 貸出冊数 78,165冊								
・全体計画、概要 (平成24年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等		指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	3,189 (一般 3,189)	利用冊数	冊	目標値	45,000				
				実績値	78,165				
		貸出者数	人	目標値	10,000	4	4	4	4
実績値	10,024								
総 合 評 価	移動図書館車で地域や学校等の各ステーションを回り、図書の貸出業務を行った。						方向性	拡充	

点検評価調書		整理番号	25						
事業名	童話発表会			担当課係名	生涯学習課 天草市立中央図書館庶務係				
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習の推進			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	児童に、童話や昔話などに興味を抱かせ親しませることにより、読書意欲の向上を図り、感性豊かな 人間性を育成する。								
内 容	各小学校代表者の発表会を旧市町単位で行っていたが、平成23年度から天草市で一本化した。(平 成24年度は49名出場)								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	124 (一般 124)	来場者数	人	目標値	200				
				実績値	250				
					目標値		4	4	4
			実績値						
総 合 評 価	童話に親しみ、創造する機会を与えることにより読書意欲の推進を図った。各 地区大会より天草地方大会への代表者を選出した。天草地方大会では天草 市代表1名が優秀賞を受賞し、県童話発表大会へ天草地区代表として出場し た。						方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	26						
事業名	公民館生涯学習推進事業				担当課係名	生涯学習課 公民館係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進		施策の内容	生涯学習の推進		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	市民自らが主体的に学習する意欲を高め、豊かで充実した生活を送ることを目的としており、公民館 において講座・学級等を実施している。また、公民館が主催する各種講座で長期にわたる講座は、定 期的に活動を行う自主学級に移行するなど、多数の自主学級や団体が公民館を利用している。								
内 容	市民がいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができる場所を提供する。各地区の公民館主催 学級は①中央公民館・1学級53人(合計18回)②本渡地区11館20学級の1,118人(合計111 回)③牛深地区3館3学級の163人(合計3回)④有明地区5館7学級216人(合計30回)⑤御所浦 地区1館1学級18人(合計1回)⑥倉岳地区3館4学級222人(合計9回)⑦栖本地区1館1学級620 人(合計33回)⑧新和地区4館6学級252人(合計22回)⑨五和地区3館3学級94人(合計16回) ⑩天草地区1館1学級7人(合計8回)⑪河浦地区3館3学級244人(合計30回) 本年度は主催学級の中でも固定化した学級・受講者は自主学級へ移行したため目標数値より減と なった。総合計50学級講座開催し、利用者数は3,007人								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	507 (一般 507)	開設講座数	講座	目標値	54				
				実績値	50				
		利用者数	人	目標値	2,800	4	4	3	3
				実績値	3,007				
総 合 評 価	平成25年度から公民館が再編され、本渡地区公民館以外は各支所に公民 館が設置され、学習活動に特化した活動を行うこととなった。今後は地区振 興会等と連携し、市民ニーズの把握、啓発推進の方策、事業内容の検討等 見直して継続して行く。							方向性	拡充

点検評価調書		整理番号	27							
事業名	コミュニティ・スクールの推進に向けた取組み			担当課係名	学校教育課 指導係					
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上				
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進						
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することを通じて、地域に開かれ た信頼される学校づくりを進める。									
内 容	本町小学校及び二江小学校に学校運営協議会を設置し、各支援コミュニティの組織づくりと効果的な 運用、コミュニティ・スクールへの理解を高めるための啓発活動に取り組む。									
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等		指標：成果、活動の対象となるもの			評 価					
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)	
	364 (一般 364)	設置校数	校	目標値	2					
				実績値	2					
					目標値		4	4	4	4
				実績値						
総 合 評 価	本町小学校では、4つの支援コミュニティ(ふるさと大好き、わくわくふれあ い、いきいきすこやか、なぜなぜなるほど)が効果的に運用され、取組内容の 充実を図ることができた。 二江小学校は、平成23年度よりコミュニティ・スクールに指定され、学校運 営協議会を機能させ、地域に開かれ、地域の教育力を生かした特色ある教 育活動が展開されている。 現在、本町小学校・二江小学校で取り組んでいるコミュニティ・スクールの取 組をH26. 4の新五和小学校でも生かしていけるよう学校教育研究委員会に おいても検討しているところである。					方向性	継続			

点検評価調書		整理番号	28						
事業名	学校の自己評価			担当課係名	学校教育課 指導係				
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校が、その教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運 営の改善を図ること、及び評価結果等を広く保護者等に公表していくことにより、児童生徒がより良い 教育活動等を享受できるよう学校運営の改善と発展を目指す取組を指導し、援助を行う。								
内 容	・学校の自己評価等について市教委への報告様式を統一 ①学校経営目標等 ②具体的計画 ③今年度の達成基準 ④自己評価(中間) ⑤自己評価(最終) ⑥分析・改善方策 ⑦学校関係者評価 評価は3段階(A:目標を十分達成した B:おおむね目標どおり C:目標達成が不十分) ・学校評価に関する情報提供 ・学校の事務負担を増加させずに、効果的な学校評価が実施できるよう、評価手法等の調査や優れた 取組の普及								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
		実施校数	校	目標値	48				
				実績値	48				
		実施園数	園	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4				
総 合 評 価	各学校において、学校評価の意義や役割、教育にもたらす効果等につい て、共通理解が図られ、学校教育目標をどれだけ達成できたか、保護者や地 域の期待にどれだけ応えられたか、組織的、継続的に明らかにし、改善を図 る手立てがとられている。特に、自己評価等について市教委への報告様式を 統一したことで、市教委としてより客観的に取組みの様子について把握するこ とができた。今後、学校関係者評価の公表や設置者への報告も含め、在り方 等について検討していく必要がある。						方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	29						
事業名	社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係				
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習の推進			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞ れの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動であり、本 市においては、青少年の非行防止という観点から、青少年の健全育成の活動に関することとして捉え 実施している。社会を明るくする運動と併せて、天草市の教育の現状について理解を深めるとともに、 これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、学校教育や社会教育をはじめとするすべ ての分野の教育力の活性化を推進することを目的に推進大会を開催する。								
内 容	・ポスター・横断幕・のぼり旗等の掲示や設置による広報活動やチラシ・啓発用品の配布による街頭 啓発活動の実施。 ・高校生や一般市民からの標語及び小中学校児童・生徒の作文を募集し(公募)、推進大会を開催す る中で、表彰や作文の発表。 ・社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会の開催 主な内容 ・県立河浦高等学校生徒による司会進行 ・オープニング:牛深加世浦老人クラブえびす会 元ハイヤ ・事例発表:牛深東中学校、牛深海洋少年団 ・記念講演:菊地幸夫さん「出会いの人生から学んだこと」								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	社会を明るくする 運動 159 (一般 159)	推進大会への参加者数	人	目標値	700				
	教育力活性化推 進大会 500 (一般 500)	標語・作文応募数	件	実績値	700				
				目標値	800				
			実績値	1,043	4	4	4	4	
総 合 評 価	社会を明るくする運動については作文や標語の募集を行い、保護司会と連携 して啓発活動に取り組むことができた。また、推進大会の開催により、天草市 の教育の現状について理解を深め、これからの教育のあり方や方向性を見 定める機会とし、すべての分野の教育力の活性化を推進することができた。						方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	30																													
事業名	放課後子どもプラン				担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係																										
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上		施策の内容	開かれた学校づくりの推進																									
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進																												
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	放課後子どもプラン事業は、小学校の空き教室等を利用して、子どもたちに放課後の学習機会を提 供することなどを目的に実施している「放課後子ども教室推進事業」と、子育て支援課で実施している 「放課後児童健全育成事業(児童クラブ)」の総称。放課後等の子どもたちの居場所を確保して遊びを 通して学ぶ場を提供し、併せて学習指導による学力の向上などに資することを目的にしている。																															
内 容	地域の方と学校が連携して、放課後等の子どもたちの居場所を確保するとともに遊びや学習機会を 提供する。 <table><tr><td></td><td>実施日数</td><td>申込者数</td><td>延べ参加者数</td></tr><tr><td>・新和小学校</td><td>28日</td><td>51名</td><td>463名</td></tr><tr><td>・御領鬼池小学校</td><td>27日</td><td>25名</td><td>583名</td></tr><tr><td>・島子小学校</td><td>63日</td><td>17名</td><td>414名</td></tr><tr><td>・本渡東小学校</td><td>24日</td><td>23名</td><td>397名</td></tr><tr><td>計</td><td>142日</td><td>116名</td><td>1,857名</td></tr></table>									実施日数	申込者数	延べ参加者数	・新和小学校	28日	51名	463名	・御領鬼池小学校	27日	25名	583名	・島子小学校	63日	17名	414名	・本渡東小学校	24日	23名	397名	計	142日	116名	1,857名
	実施日数	申込者数	延べ参加者数																													
・新和小学校	28日	51名	463名																													
・御領鬼池小学校	27日	25名	583名																													
・島子小学校	63日	17名	414名																													
・本渡東小学校	24日	23名	397名																													
計	142日	116名	1,857名																													
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評 価																											
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)																							
	652	実施校数	校	目標値	6																											
				実績値	4																											
	(県支出金) 450 (一般財源) 202	参加者数	人	目標値	2,000	4	4	3	3																							
	実績値			1,857																												
総 合 評 価	小学校の統廃合により、昨年度から1校減少したが、年度途中より新規で1校 実施し、4校の子ども教室の開設を行なうことができた。この事業は、コーディ ネーター等地域の協力が不可欠であり、コーディネーターの育成が難しいた めに、事業の拡大は困難な状況である。						方向性	継続																								

点検評価調書		整理番号	31						
事業名	青少年健全育成事業				担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	快適な生活環境づくり	施策	人と人が支え合うまちづくり		施策の内容	青少年の健全育成		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進					
目 的 ・事業の目的 ・補助の目的	青少年同士の交流を促し、自然とのふれあいなどの豊かな体験の場を創出すると共に、ボランティア 等の社会参加型活動への参加を支援する。地区の伝統的な事業を体験することにより、各地区のふ るさとの良さを再発見したり、地元の青年団やお年寄りとの交流、又地区の歴史を学ぶうえで大きな 成果がある。								
内 容	青少年の交流や自然体験事業等を実施した。 ・寺子屋体験学習(栖本) 昔の寺子屋を再現し、地区のお年寄りに竹細工、地域の歴史や民話、礼 儀作法等を学ぶ。 参加者数30名 ・ボランティア入門講座、とんとこ漁体験(御所浦町) 島の特性を活かした化石発掘や伝統の漁法等 を通した小中学生の体験学習事業を実施。 参加者数 とんとこ漁体験 20名、ボランティア入門講 座 44名、化石発掘体験 60名 ・青少年育成補助事業 青少年の各種体験事業、青少年の他地域との交流事業等に対する補助 御所浦町・産山村海山交流活動 47名、本町小学校・矢並小学校の交流体験活動 30名、屋久島 体験学習会 ((社)天草本渡青年会議所) 30名、下津浦地区こども体験学習 40名、上津浦地区こ ども体験学習 53名								
・全体計画、概 要 (平成24年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評 価				
	平成24年度(千円)	指標名	単位	平成24年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	目的の 達成状況 (有効性)	内容(目標) の達成状況 (活動状況)
	901 (一般 901)	青少年健全育成 補助金申請団体	団体	目標値	4				
				実績値	5				
		参加者数	人	目標値	350	4	4	4	4
				実績値	354				
総 合 評 価	地域の特性を活かした事業を取り込んで、青少年の交流や自然とのふれあ いなど豊かな体験事業として、青少年の健全育成に大きく寄与している。 実施団体が固定化しているので、事業の周知を図る必要がある。						方向性	継続	